

会議録

会議の名称	公民館運営審議会 平成26年度第11回定例会会議記録
開催日時	平成27年2月18日（水曜日）午後6時30分から8時30分
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：渡辺文子、野間春二、瀬川容子、馬場真由美、真鍋五十鈴、畠山昭裕、糸山時子、大野雅生、上田幸夫、新藤浩伸、武司一郎、西原みどり 職員：田中館長、小笠原分館長、鴨志田分館長、長谷部分館長、平井分館長、石川分館長、水野伸江、保谷しげ美、松永尚江、星野美津子、神田園子（オブザーバー）、武蔵野大学インターンシップ生
欠席者	中曽根聡、小林克彦
議題	議題1 平成26年度第10回定例会の記録について 議題2 報告事項 （1）行政報告 （2）公民館だより編集室報告 （3）都公連委員部会及び研修会報告 （4）ひばりが丘公民館関係の報告 （5）事業評価の報告 議題3 審議事項 （1）平成27年度事業方針・事業計画等について （2）事業計画書・事業報告書について 議題4 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	資料1 西東京市公民館運営審議会平成26年度第11回定例会次第 資料2 西東京市公民館だより編集室報告 資料3 社会教育委員研修会開催のご案内 資料4 あめんぼ青年教室年間活動予定表 資料5 研修案内「教育委員会制度の改正と公民館」 資料6 公民館の組織体制にかかる経緯 資料7 平成27年度事業計画（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り 無し
会議内容	<p>議題1 平成26年度第10回定例会の記録について 修正なし。「案」を記録とする。</p> <p>議題2 報告事項 （1）行政報告 ○館長： 下野谷遺跡は国指定の運びである。記念行事が3月22日に行われる。公運審委員も2人招待される。 ・正副会長が出席。 ・社会教育委員の研修会が3月16日に開催される。参加のご連絡は社会教育課に。</p> <p>（2）公民館だより編集室報告 ・別紙報告書のとおり</p> <p>（3）都公連委員部会及び研修会報告 ・1月31日に福生市公民館で第3回研修会が開催された。畠山委員、西原委員、野間委員、職員2名が出席</p>

した。59人参加（速報数字）。国立市公民館の「わいがや」、萩原講師の若者をどのように公民館にひきつけるか、の講演であった。

・都公連総会が4月に日野市で開催される。正副会長、館長、小笠原分館長、塩谷専門員で参加する。

○委員：

関プロについては議題になるか。

事務局：

今年度の事業計画の中に盛り込まれる。

(4) ひばりが丘公民館関係の報告

館長：

この間、困惑を招き申し訳ない。資料「公民館の組織体制の変更にかかる経緯」にあるとおり、臨時会で中止が可決された。3月の市議会に条例提案はしない。ただし、課題は残されているので今後も検討していかなければならず、委員のみなさま、関係市民のみなさまとは協議させていただく。

また、2月3日に正副会長と教育部2部長でお会いし、館長から重ねて説明をした。今後とも諮問機関としてご協力いただきたい。

○委員：

2月3日には、10月からの公運審の経緯、11月の臨時利用者懇談会の様子を部長に伝えた。

○委員：

教育委員から、「公運審の議論、合意があったものと受け止めた、よく聞くと説明のみで合意は不十分だったようだ。議論を尽くしてほしい」と言われた。財政逼迫などを受け、適正配置についてはよりよい方法を考えていかなければならない。同じことを繰り返してしまうことを危惧する。公運審の意義を把握してほしい。

○委員：

資料中「関係市民のみなさまに理解が得られていないと判断するにいたり」の主語は誰か。

館長：

教育委員会事務局である。

○委員：

最終的には教育長判断ということか。

館長：

そうだ。

○委員：

判断をするための会議などはあったのか。

館長：

上司に状況の報告をしている。

○委員：

2月3日に向けての動きは。

館長：

部長も正副会長と話したいという意向であった。

○委員：

今後はどう話していくのか。

館長：

公運審での議論は上司に伝えていく。

○委員：

館長の話の中の「説明不足」とは、われわれに対して、ではなく部長や教育委員に対して、ではなかったのか。

館長：

両方であった。

○委員：

われわれにも情報を流してください、と言ってあった。その後、市民交流施設への転用がなくなったと思ったら、分室化、条例改正、と進んだことが腑に落ちない。よりよい方法を一緒に考えていきたい。

○委員：

来年度は分館長は不在になるのか。

館長：

来年度は残置する。しかし課題は残ったままだ。

○委員：

では分館長の引き上げは決定なのか。

館長：

その方向で課題を解決していく。

○委員：

PTで引き続き検討するのか。PTのメンバーは変わらないのか。

館長：

メンバー、方法は検討する。

○委員：

「中央館の企画調整力の向上」は理解できない。十分に説明してほしい。

○委員：

分館長の意見が表に出てくるような方法をとってほしい。

○委員：

公運審も改選を迎える。いったん凍結ということであるが、改選後も館、公運審とも大きな課題として十分な扱いをしてほしい。

(5) 事業評価の報告

・本日、午後4時30分～6時、委員4人、職員10人で打ち合わせを行い、評価を行うに至った経緯の確認、評価表について、今後の進め方について意見交換した。

次回：3月25日 午後4時30分～

議題3 審議事項

(1) 平成27年度事業方針・事業計画等について

○委員：

重点事業中「地域人材の発掘と支援」は、公民館の現状を鑑みると「支援と発掘」の順番がふさわしい。

○委員：

「全館が共通して行う事業」中の「広報」にも公民館だよりを盛り込むべきである。

○委員：

「市民との共同」は「協働」であろう。

事務局：

「各種会議」について今まで行いつつも記載していないものもあったので、今回記載した。

委員：

本日のご意見を斟酌して確定版を作成する。

(2) 事業計画書・事業報告書について

平成27年度公民館主催事業計画書（10件）平成26年度公民館主催事業報告書（4件）

○委員：

安全面での配慮は大丈夫か。

- ・「親子講座—親子で音に合わせて楽しくリトミック—」（ひばりが丘）

事務局：

マットを敷いて危険のないよう配慮する。清掃業者の協力を得て衛生面も含めて万全の対処をする。今年度まで実施した経過からも安心している。

○委員：

展示には作者のプロフィールを添えてほしい。

- ・「ちいさな展示会」（芝久保）、「ロビー企画」（田無）

○委員：

ひばりが丘公民館でもロビーを活用した事業を考えてほしい。

○事務局：

来年度事業計画案に記載していないが、ロビーコンサートを開催できる可能性がある。

○委員：

新規学級生の受け入れはどうか。

- ・「あめんぼ青年教室」（田無）

事務局：

4人受け入れられそうである。

学級活動中に、家族が自分の時間を持てることも大きな副次的効果であろう。

- ・「あなたは、この地域に満足していますか」（柳沢）
- ・「くるみ学級」（柳沢）

○委員：

固いテーマだが14人ものが参加があったことを評価する。

○委員:

備考欄中、「お互いの報告を発表し合った」とは何か

事務局:

参加者有志が、各自調べた資料や本をもとに学習会をしたものである。

○委員:

「参加者の評価」から「参加者＝当事者」という意識が根付いたことが読み取れることを高く評価する。

- ・「まちづくりステップアップ講座」(柳沢)

○委員:

若いお母さんたちのパワー、行動力が感じられた。

議題4 事務連絡及び情報交換

3月16日「社会教育委員研修会」参加者確認 委員7人参加予定

平成26年度第12回定例会 3月25日(水曜日) 午後6時30分～

於:田無公民館 第二学習室

以上